

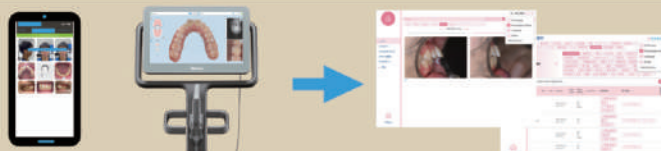
GP が
アライナー矯正を
行うときに
外せないポイントを
やさしく症例に沿って
解説した本

安河内康史 著

医歯薬出版株式会社

アライナー矯正治療のロードマップ

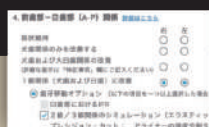
患者来院・初診コンサル



矯正検査



症例提出



- 症例資料提出
- クリンチェック生成のためのテキスト入力

クリンチェック修正



- 最終位置の調整・決定
- 移動計画の調整・決定
- アタッチメントの調整・決定

2nd コンサル・発注

- クリンチェック 6.0 を用いて説明

アライナー装着

- 抜歯
- アタッチメント装着

治療管理

- オルソコム
- プログレスアセスメント



患者来院・初診コンサル

2023 年頃から成人・矯正相談で来院される新患の方のほとんどがアライナーでの矯正の話を知りたいと言われるようになった。もちろん、当院がブラケットでの矯正をほとんど行なっていないこともあるが、明らかに患者さんが持って来られる知識が変わっている。周囲にアライナーで矯正している方を見かけるのであろう。

それによって矯正の初診コンサルの方法も変わってきた。2022 年頃までは iTero + クリンチェック 5.0 で簡易的な自動生成を行うことで関心を引いていたのだが、最近ではそこをあまり求められていないと感じる。自分の歯列矯正がアライナーで治療できるのか、実際に行くと通院頻度・使用時間など、より具体的な内容を聞かれることが多くなった。アポイントに空きがあれば初診時から矯正検査を行うことも増えている。そのため、症例を経験することで蓄積された経験値をお話するためのオルソコムのような管理アプリが必須となっている。

現在は、アライナーで矯正することはインプラント治療が欠損補綴のスタンダードであるように矯正治療のスタンダードとなったと感じる。口腔内スキャナー・CBCT と GP の必須アイテムは増え、歯科医療の進化スピードは加速している。

【矯正患者管理ソフト・オルソコム】



自分の説明しやすいキーワードでソート（検索）でき、ビフォアアフターや治療経過もすぐに説明することができる。

矯正治療専用の患者管理アプリがあることで、GP ではあるが、矯正治療へ本気で取り組んでいる姿勢を示すことができる。

魅力その1

患者人気が高く、審美的・可撤式の矯正装置である

当院では、矯正治療のために来院される患者さんの多くが、アライナー矯正を最初から希望される。「アライナー矯正であれば矯正治療を行いたい」という患者さんも多い。

GPがアライナーを用いて適正な矯正治療を行うことができれば、これまで以上に多くの患者さんを助けることができる。矯正希望患者数そのものも増加するであろう..

筆者の印象（図1）では、患者さんはすでに「ベーシックな歯列矯正はアライナーで行うもの」という認識になってきたと感ずることがある。

アライナーという装置の審美性はもちろんその大きな要因の一つであるが、数年前に比べると、「痛くない」「怖くない」「知人がやっている」「マウスピースでできるならしたい」という理由が増えてきたように感じる。

また最近では、「私の歯並びはアライナーで矯正治療ができるのか？」「抜歯してアライナーで矯正したいのだから可能か？」という質問をよく受けるようになった。当院においては現在、外科的矯正の可能性のある方、あるいはアライナーの管理ができない方については専門医へご紹介させていただくという方針をとっている。

多くの患者支持を背景として、GPにおける矯正治療のスタンダードはアライナーになってきている。

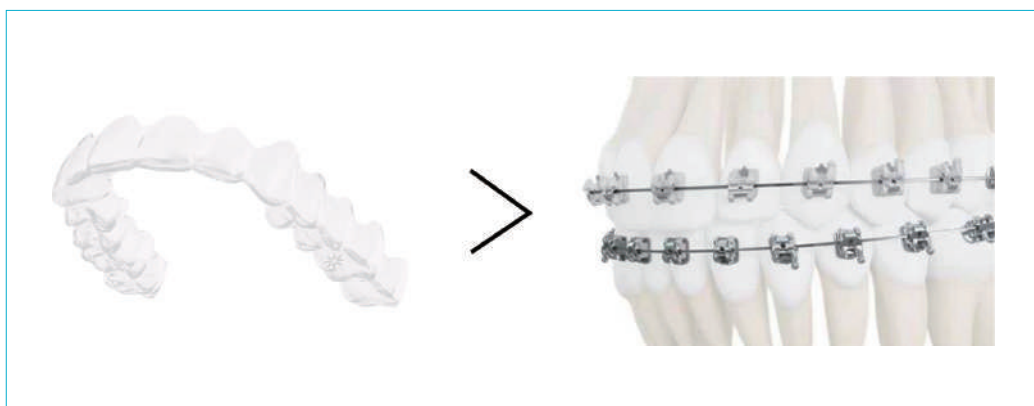
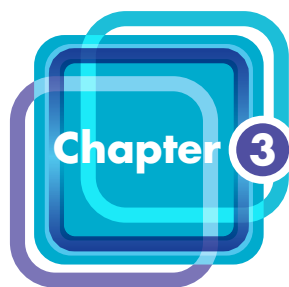


図1 お口の中に入れる矯正装置としての人気は「金属ワイヤー」よりも「透明マウスピース」か



Chapter 3 矯正診断はプロフィールから

顔貌・骨格診断

矯正治療は「プロフィールではじまりプロフィールで終わる」と言っても過言ではない。アライナー矯正治療を希望する目的の主たる目的は審美性の改善であることが多く、歯を並べることのみではない。審美性を損なってまで歯の整列を希望されることは少ない。また、希望される審美性はその患者によって異なるため、術者の理想とする歯列咬合が患者の希望と合わないこともしばしばである。

顔貌骨格診断は、家・建物を建てる前に地盤基礎を調査するのと同義で、歯列歯並び診断の前に基盤・ベースの骨格がどうなっているかを知るための、大変重要な診断項目である（図1）。もちろん矯正治療に限ったことではなく、歯科治療すべてに適用すべき項目である。

顔貌骨格診断6項目

●横顔（プロフィール）	Convex / Straight / Concave Profile
●顔貌型（縦の長さ）	Long / Normal / Short face
●咬合高径	Deep / Normal / High Bite
●骨格タイプ	Skeletal Class I, II, III
●顔面型（下顎の回転）	Mesio / Dolicho / Brachy Face
●下顎角	High / Normal / Low Angle

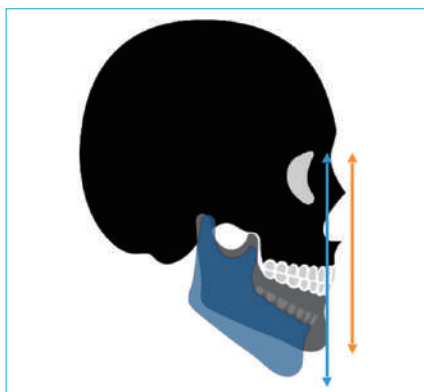


図1 「Dolicho」は長いという意味であるが、Dolicho-Facialを下顎の後下方への成長や偏位と説明されることがある。下顎が下方に下がると確かにその結果として顔貌は長くなる

治療経過

開始前



4 カ月後



7 カ月後



図 11 治療開始からアタッチメントオフまで約7カ月で動的治療終了